

幼稚園の先生に対する願い

父 母

原 田 豊 実

始めて子どもを幼稚園にやる親として、幼稚園にそして先生がたに何を望むか、思いつくままに記してみます。

家庭という狭い世界にわがまま勝手に甘やかし勝ちに育ててきた子どもが、果して一人前に集団生活に融けこんでゆけるか、また一人前の知能と能力を備えて力強く成長してくれるだろうか。そんな不安が先ず持たれると同時に、幼稚園に預けることによって親ではどうにも手の負えないしつけや学習やその他「良い子ども」になる為の一切の諸条件を具備させていただけるのだ

という他力本願の気持ちも否めない事実です。

これらのことについては、親としても猛省の要がありますが、とりあえず先生がたへの勝手な願いを羅列させていただきます。

一、まず先生がた一人ひとりが立派な人格者であっていただきたいこと。

芸能教育云々もさりながら、一生の性格を形成するといわれる幼児期に自然に薫育いただける若々しい豊かな、高邁

な、しかも内にきびしい一面のある指導者であってほしいこと。

二、次に子どもの個性を一人ひとりについてじっくりぶん伸ばしていただけるよう特に配慮願いたいこと。

子どもの個性ないし素質について、親はとかく客観的な評価が出来ないのであります。子どもに対する親の具体的なみかた、考えかたについても、先生から折にふれ矯正させていただければと思えます。

三、その為に先生と家庭（私ども）との結びつきを密接に保たせていただけるような雰囲気と方法を考慮してもらいたいこと。

すなわち幼稚園の先生であると同時に、私ども親に対する良き相談相手であり、真執な助言者であっていただければ理想的であると考えます。

四、とくに子どもの教育方針については、甚だ常識的ですが、丈夫な体と豊かなしつかりした心のかん養に留意願いたいことと。

これからのきびしい社会に処して、いかなる不遇の環境においても一個の独立した人間として、雄々しくしかも他人との協調を忘れずに、幸福に生きてゆけるような素地をいささかでも培っていたなければと痛感します。

五、更に教育技術あるいは雰囲気の問題として(実は、先日男親として、始めて子どもの幼稚園参観の機を得たのですが)種々配慮された保育室の工夫、豊かな教材、さういったものに一驚した次第ですが、これらのものが最大限に有効に活用されてゆくような方向にますます御研究願えば幸いです。

また特に都心の子どもにとっては郊外のいわゆる田園風景に接して浩然の気を

養う機会もなかなかむずかしいので、諸事情の許す限りこんなことも考えていただけたらと思えます。

六、また項目を改めるほどのことでもありませんが、教育の内容として、いわゆる小学校の準備教育的な、文字や数に関するつめこみは必ずしも必要ないと思えます。

むしろみんなと嬉々として興じ、みんなと仲よくしかもみんなの前で憶せず自己を表現し発表しうる「発表能力」といいますか、そういった社会性(子どもらしいのびのびとした)のかん養に着眼していただければとも考えます。

七、最後にこれは私どもの場合の特殊なお願いですが、実は双生児(一卵性)の親として今まで二人がそれぞれ一人前の子どもらしくすべての点でおくれのないよう少なからぬ配慮をしてきたつもりです

が、平等に扱い、個性をのびのび伸ばしてやるのがいかにむづかしいかということを痛感するばかりです。

家庭教育云々といえた柄では毛頭ありませんが、このような特殊ケースに対するいわゆる事例研究としての子どもの育てかた、あるいは具体的な教育指針などにつきまして、まとまったアドバイスを先生がたからいただけるとしたならば、世の双生児の親たちはすこぶる資するところ大と存じます。

以上、日曜日に子どもと遊ぶぐらいがせい一杯で、あとは専ら「うるさい」とか、「言うことをきけ」とか叱りちらし役の男親として、誠に勝手なお願いになりましたが、この機会に先生がたはもちろん親御様がたの御批判、御鞭撻を給われればこの上なく幸甚と存じます。